

令和6年度 林分条件調査表

森林管理署	由利森林管理署
物件番号	1
物件名	森林環境保全整備事業(大火国有林)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量													最寄り市町村からの距離 km	備考								
									本数	材積 m³	m³/本	N m³	L m³	計 m³	伐倒		集・造材		小運搬巻立			森林作業道作設		林地保全		土場作設等 h	砂利数量 m³			薬剤散布 (スリパイン) ℓ	鉄板規格*枚数						
															方法 m²	数量 m³	方式 m³	数量 m³	フォワーダ 片道運搬距離 m	数量 m³	トラップル付きトラック 片道運搬距離 m	数量 m³	林地傾斜 緩・中・急	延長 m	2種 編柵 m							緑化 m²					
1024い	水涵保	秋田スギ	69	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	11.10	33	22	3,114	1555.7	0.50	530	382	912	全木	1,556	プロセッサ	912	2,018	912	18,100	912	中													笹子出張所	9.2
1024ろ	水涵保	秋田スギ	64	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.91	33	30	200	190.69	0.95	67	44	111	全木	191	プロセッサ	111	2,617	111	18,100	111	中														9.2
1024に	水涵保	秋田スギ	63	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.61	33	28	399	298.88	0.75	103	72	175	全木	299	プロセッサ	175	2,972	175	18,100	175	中														9.2
1024に1	水涵保	カラマツ	63	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.50	33	18	477	159.16	0.33	47	47	94	全木	159	プロセッサ	94	3,394	94	18,100	94	緩														9.2
1024ち	水涵保	秋田スギ	46	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.74	33	32	172	159.83	0.93	56	38	94	全木	160	プロセッサ	94	2,710	94	18,100	94	中														9.2
1024り1	水涵保	秋田スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.33	33	26	514	280.6	0.55	98	66	164	全木	281	プロセッサ	164	2,463	164	18,100	164	急														9.2
1024り4	水涵保	秋田スギ	48	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.20	33	26	799	539.64	0.68	178	138	316	全木	540	プロセッサ	316	1,705	316	18,100	316	急														9.2
1024わ	水涵保	秋田スギ	70	育成受光伐	複層伐(天)	3.02	50	52	512	1367.1	2.67	481	320	801	全木	1,367	プロセッサ	801	1,405	801	18,100	801	中														9.2
1024そ	水涵保	秋田スギ	41	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	0.27	33	28	76	49.92	0.66	17	12	29	全木	50	プロセッサ	29	31	29	18,100	29	緩														9.2
1024ら	水涵保	秋田スギ	72	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	1.90	33	42	355	549.11	1.55	193	129	322	全木	549	プロセッサ	322	264	322	17,320	322	中														8.4
1025に	水涵保	秋田スギ	72	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐3残)	0.23	25	32	36	41.56	1.15	15	10	25	全木	42	プロセッサ	25	66	25	17,560	25	急														8.7
合計						25.81			6,654	5,192	0.78	1,785	1,258	3,043		5,192		3,043		3,043																	

- 1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
- 2 面積は伐採面積とする。
- 3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0° ~ 20°、中:20° ~ 30°、急:30° 以上
- 4 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第1位止めとする。
- 5 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
- 6 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

別紙

森林環境保全整備事業（大火国有林）
検知業務作業内訳書

単位：m³

物件番号	材種	作業工程	予定数量	備考
1号	素材	(1)の業務	1,753	
		(2)の業務	32	
		(3)の業務		
		(4)の業務		
		(5)の業務	1,258	
	計		3,043	

注1 各物件の内訳数量を、検知業務請負契約の作業内容毎に基づき記載すること。

検知業務請負（作業内容）

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行う作業、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示、材積計算を行い、送状（概算引渡物件明細書）を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の作業 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。